

計画の名称	1 八潮市における快適で住みやすい市街地づくり		
計画の期間	平成27年度～平成31年度（5年間）	交付対象	八潮市
計画の目標			

密集市街地やスプロール市街地を改善するため、土地区画整理事業により、公共施設の整備改善及び宅地利用の増進を図り、誰もが快適で住みやすい市街地の整備と魅力ある都市環境を実現する。

計画の成果目標（定量的指標）		市民生活の利便性と安全性を向上させ、快適で安全安心に生活できる市街地の整備を促進する。																					
定量的指標の定義及び算定式		<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th colspan="3">定量的指標の現況値及び目標値</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>当初現況値</th> <th>中間目標値</th> <th>最終目標値</th> </tr> <tr> <td>(H27当初)</td> <td>(H29末)</td> <td>(H31末)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>37.7%</td> <td>—</td> <td>47.9%</td> <td></td> </tr> <tr> <td>42.6%</td> <td>—</td> <td>48.0%</td> <td></td> </tr> </table>			定量的指標の現況値及び目標値			備考	当初現況値	中間目標値	最終目標値	(H27当初)	(H29末)	(H31末)		37.7%	—	47.9%		42.6%	—	48.0%	
定量的指標の現況値及び目標値			備考																				
当初現況値	中間目標値	最終目標値																					
(H27当初)	(H29末)	(H31末)																					
37.7%	—	47.9%																					
42.6%	—	48.0%																					
利便性と安全性の向上割合 = Σ (対象地区街路整備延長 × 街路築造率) / Σ (対象地区街路整備延長) 快適で安全安心に生活できる市街地の割合 = Σ (対象地区面積 × 使用収益開始率) / Σ (対象地区面積)																							
全体事業費	合計 (A+B+C)	756 百万円	A	756 百万円																			
			B	0 百万円																			
			C	0 百万円																			
効果促進事業費の割合 C / (A+B+C)				0.0%																			

事後評価

○事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
策定主体にて評価を実施し、その結果を第三者機関である都市計画審議会に報告し参考意見を聴取した。	令和4年度
	公表の方法
	市のホームページに掲載

1. 交付対象事業の進捗状況

交付対象事業																	
A 地方道路整備事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	道路種別	省略工種	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	備考
											H27	H28	H29	H30	H31		
1-A1	都再区画	一般	八潮市	直接	八潮市	区画	改築	八潮南部東地区	都市再生区画 A=88.1ha	八潮市						285	
1-A2	都再区画	一般	八潮市	直接	八潮市	区画	改築	大瀬古新田地区	都市再生区画 A=52.3ha	八潮市						201	
1-A3	都再区画	一般	八潮市	直接	八潮市	区画	改築	西袋上馬場地区	都市再生区画 A=39.0ha	八潮市						270	
合計 (地方道路整備事業)											756						
B 関連社会資本整備事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	備考	
										H27	H28	H29	H30	H31			
合計											0						
番号	一体的に実施することにより期待される効果												備考				
C 効果促進事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	備考	
										H27	H28	H29	H30	H31			
合計											0						
番号	一体的に実施することにより期待される効果												備考				

※交付対象事業については、できるだけ個別路線ごとに記載すること。

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況					
I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況		<ul style="list-style-type: none"> ・都市計画道路や区画街路の整備を行ったことにより、利便性や安全性が向上している。 ・使用収益開始済面積の増加に伴い土地利用が進んだことにより、魅力ある都市環境の形成が進んでいる。 			
II 定量的指標の達成状況	指標 (利便性と安全性の向上割合)	最終目標値	47.9%	目標値と実績値 に差が出た要因	仮換地指定及び建物移転交渉が難航したことから、予定していた建物が移転できず、街路築造率が伸びなかった。
		最終実績値	42.7%		
	指標 (快適で安全安心に生活できる市街地の割合)	最終目標値	48.0%	目標値と実績値 に差が出た要因	比較的大規模な土地の使用収益が開始されたことにより、目標値を上回る実績値となった。
		最終実績値	50.7%		
III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 (必要に応じて記述)					
3. 特記事項 (今後の方針等)					
<p>誰もが快適で住みやすい市街地と魅力ある都市環境の実現には、各土地区画整理事業地内の道路、公園、調整池をはじめとした公共施設の整備を進め、使用収益開始による土地利用の促進が不可欠であることから、引き続き整備を進める。</p>					